

ば い り ん

令和3年11月25日(木) 人吉市立第三中学校 学校便り

～三中で身に付けさせる4つの資質・能力～

「主体性」「見通す力」「関わる力」「探究する力」



主体性 「今輝全力」でやり遂げた文化祭

今年も午前中開催として実施しましたが、会場には、保護者の方々やご家族、地域の学校関係者の皆様に文化祭を参観していただくことができました。三中伝統の「梅娘」と「三中神輿」の発表、英語暗唱、人権作文、演劇、全員合唱、たくさんの展示作品など充実した文化祭となりました。生徒たちは文化祭テーマの「今輝全力」のもと、「今」を一生懸命に取り組み、三中生の「輝く」姿を「全力」で頑張り、自分達で主体的に作り上げることができました。多くの方にご参観いただき、ありがとうございました。

見通す力 「SDGs」で未来を考える

世界中の人々が平等かつ安全に生きることのできる社会を作るために17の目標がつけられています。そして、その目標のもとに一人も取り残さない持続可能な社会をつくるために自分たちに何ができるのか、について文化祭で発表をしました。私たちに、人権、共生の意識を持って未来を見通し、将来を切り開いていく力を身に付けていくことが求められていることを、この発表で改めて考えさせられました。



関わる力 甦れ!「三中神輿」

男子生徒と保護者で、三中神輿を2年ぶりに担ぎました。女子生徒は、神輿の周りで大内輪、番傘、ちょうちんを持って、神輿担ぎに華を添えました。「梅娘」の華やかな発表の後に、団長の前村京威くんの指示のもと、生徒と保護者が神輿の周りに集まり、三中の発展と人吉市の復興を祈念して神輿を担ぎ大盛況でした。生徒会長の北川良唯くんからは、「最後の文化祭で神輿を担ぐことができ、1・2年生に伝統をつなぐことができました。」と、心のこもったあいさつがありました。



探究する力 演劇「花は咲く」

演劇「花は咲く」では、東日本大震災で被災をした中学生や家族、地域の人々等の姿を見事に演じ、観る人の心に訴えかけました。昨年、人吉市も7月豪雨を経験し、その時に感じたことを決して忘れず、風化させないように、後世に語り続けなければなりません。劇で演じた東日本大震災や7月豪雨で失ったものは大きいですが、つながりを深め、復興に向けて日々努力を続けています。自分たちにできることを探究し続けていくことが、私たちに与えられてた使命であることを教えてくれた劇となりました。



<三中PTA活動報道> PTA門松づくりへのご協力をよろしくお願いします。

文化祭におきましては、神輿担ぎの協力や梅娘の長襦袢の裾上げ等、保護者の皆様にはたいへんお世話にまりました。PTAとしても文化祭に協力することができ、とても充実した文化祭となりました。

12月12日(日)にPTA門松づくりを行います。時間は午前9時から11時30分までを予定しています。今年の締めくくりとして実施し、来年へ向けた祈念を込めて親子で門松づくりに取り組みたいと考えています。たくさんの方々の参加をお願いいたします。

PTA会長 清家 幸則